


地域名	岡山県津山市 <sup>あば</sup> 阿波地区	
地域運営組織名	あば村運営協議会	
① 地域の概要	<p>阿波地区は、明治以来 100 年以上続いた旧阿波村のエリアとし、平成 17 年に津山市に編入された。中国山地の中腹に位置し、四方を 1,000m 級の山に囲まれていて、総面積の 94% を森林が占めている。阿波村はその昔、木工ろくろを使って木の器などをつくる木地師の里として栄え、その後も長い間林業が村の基幹産業であった。近年は、国内の林業衰退とともに村の林業も衰退傾向にある。津山市街地へは車で 40 分ほどなので、通勤圏内である。</p> <p>平成 17 年に 663 人だった人口が、平成 22 年には 576 人に減少し、140 年の歴史のある小学校は閉校、幼稚園は休園、唯一のガソリンスタンドも撤退、行政支所も規模縮小という状況になった。</p> <p>平成 27 年 2 月に、市町村合併 10 年を機に『あば村宣言』を行い、新しい自治のかたちとして住民による自立した村づくりを目指すことを宣言。「エコビレッジ阿波推進協議会」を「あば村運営協議会」へ名称変更し、「あば村」を運営する 5 つの「部」を設置した。各部署には主担当の団体・事業内容を設置し、異なる分野・機能の事業や施設を複合化・連携させ、小さな拠点の核となる 4 つの施設（①ガソリンスタンド、②農産加工施設、③市役所阿波出張所、④温泉・交流館）を運営している。</p>	
② エリア・人口・世帯数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積： 4,207ha（旧阿波村）</li> <li>・人口： 494 人</li> <li>・世帯数： 189 世帯</li> <li>・高齢化率：44.5%</li> </ul> <p>（平成 27 年国勢調査時点）</p>	
③ 中核施設の概要	施設名称	あば商店
	開設時期	平成 26 年（合同会社あば村による運営開始）
	設置方法	民設
	設置主体	JA（撤退後に合同会社あば村が引き継ぐ）
	運営方法	民営
	運営主体	合同会社あば村（平成 28 年 3 月末現在：出資者 170 人）

④ 拠点エリアに集積している機能	機能	施設名	運営主体
	買い物	あば商店	合同会社あば村
	交通	過疎地（公共交通空白地）有償運送	NPO 法人エコビレッジあば
	産業	農産物加工施設 （小学校跡地に移転予定）	一般財団法人あばグリーン公社
	観光	あば交流館・温泉	一般財団法人あばグリーン公社
	行政	市役所阿波出張所	津山市
	医療	—	—
	福祉	阿波保健福祉センター	津山市社会福祉協議会
	ガソリンスタンド	あば商店	合同会社あば村

⑤ 拠点づくりの中心主体

あば村運営協議会が中心となって、拠点づくりを進めている。

あば村の小さな拠点(イメージ)  
(阿波地区の中心部 南北300m×東西200m)

18  
(キーワード: 小規模・分散・複合化・近隣循環・協働)

⑥ 拠点づくりのプロセス

**背景、経緯**

阿波地区の中心部には、小学校、幼稚園、児童館、郵便局、市役所出張所、公民館、保健福祉センター、温泉・交流館（宿泊施設）、農協、農産加工施設、郵便局など、公共・公益施設が集中して立地していた。しかし、小学校や幼稚園は閉校・休園し、JAのガソリンスタンドも平成26年5月末に撤退するなど、生活サービス機能が急速に縮小しつつある。あば村運営協議会では、平成24年度より、これらの施設の在り方を検討する「新しい村のかたち検討委員会」を組織し、議論を進めてきた。

その中で、特に「ガソリンスタンド（あば商店）」「小学校跡地」「市役所阿波出張所」「あば交流館・温泉」の4つの施設の機能強化を図り、これらの施設を連携させることで、地区中心部に「小さな拠点」を形

	成し、地域住民の生活支援や生産活動の強化、地域内外の交流を図っていかうと取組みを進めている。
手法	旧阿波小学校の特別教室棟を農産加工施設としての整備及びガソリンスタンド・購買店の継続と改修事業には、「過疎地域等自立活性化推進交付金」（総務省）を活用。津山市役所阿波出張所などの公共施設の空きスペースをサテライトオフィス等として活用することを検討中。ネット販売などを通じた農産加工品の販路拡大や食をテーマにしたツーリズム事業、ガソリンスタンド拠点の維持や買い物支援などの生活支援については、「地域おこし協力隊」を活用している。
サービス・活動	あば村運営協議会では、「ローカル・アバノミクス」と銘打ち、「第1の矢：小さな拠点づくり」「第2の矢：あば村ブランドの開発・流通」「第3の矢：都市農村交流を通じた移住・定住」の3本の矢の取組を行っている。「第1の矢：小さな拠点づくり」としては、ガソリンスタンド経営、購買、地元スーパーと連携した宅配事業、お試し住宅等を行っている。
拠点までの交通手段	阿波地区の交通環境については、阿波地区の中心部から約12km離れた病院などのある加茂地区や約4km離れた最寄りの鉄道駅となるJR美作河井駅まで市営阿波バスが運行されている。しかし、市営阿波バスは路線経路が幹線道路となっており、高齢化が進み集落が谷合に点在する阿波地区においては、自宅からバス停のある幹線道路までのアクセスや地区の中心部までのアクセスが課題であった。 こうした中、平成24年3月に地元有志によるNPO法人エコビレッジあばが結成され、過疎地（公共交通空白地）有償運送の取組みが始まっている。過疎地有償運送では、車の運転ができる方を登録し、移送の必要な方が登録運転者に連絡、個人自家用車により有償で運送を行っている。
運営	「あば村運営協議会」の中に「総務部」「環境福祉部」「農林事業部」「エネルギー事業部」「交流・発信部」などの「部」を設置し、役場の組織を模した、「あば村」を運営する体制としている。 小さな拠点エリアの第1の核施設「ガソリンスタンド（あば商店）」は、合同会社あば村が運営している。あば商店を地域の支え合いの拠点とするため、あば商店のスタッフの給与の1/2をあば村運営協議会より負担し、地域マネージャーの役割も果たしている。 第2の核施設「農産物加工施設」は津山市により平成29年3月に旧小学校校舎に整備が完了し、平成29年度より現在の施設を移転し、稼働予定である。一般財団法人あばグリーン公社が運営し、地域の加工グループによる農産加工品の製造・販売を行う。 第3の核施設「津山市役所阿波出張所」は、行政窓口としての機能を維持している。正規職員5名、嘱託職員2名の体制となっている。 第4の核施設「あば温泉・交流館」は温泉施設と食堂を併設した宿

	<p>泊施設であり、津山市の指定管理で一般財団法人あばグリーン公社が受託運営している。年間6万人弱の利用がある。</p> <p>この4つの施設を核に他の施設と連携させながら小さな拠点としての機能強化を図っている。</p> <p>この小さな拠点へのアクセスは、幹線道路を市営阿波バスが、交通空白地を過疎地有償運として NPO 法人エコビレッジあばが担っている。ちなみに過疎地有償運送の利用料金は地域内 100 円、JR 駅までが 200 円となっている。</p>
<p><b>⑦効果</b></p>	<p>阿波地区において、生活機能の低下とそれに伴う人口減少が大きな課題となっていることから、移動手段である市営バスの維持、過疎地有償運送事業の継続や地域における小さな拠点の形成など生活機能を維持するための取組を更に強め、地域の維持、地域コミュニティの活性化を図る。</p> <p>また、地域の食や農産物・加工品を「あば村ブランド」として商品化し、販路拡大を図ることで阿波地区の主要産業である農林業について雇用を創出する環境を整備するとともに、阿波地区の豊かな水・森林資源のエネルギー資源として活用の可能性を探り、雇用の創出と低炭素・循環型地域の形成に繋げる。</p> <p>さらに、これらの取組を広く発信し、市内中心部あるいは、市外、県外の都市住民との交流を促進することで「住み続ける」「帰ってくる」「住みたくなる」あば村の形成を図り、阿波地区への共感者を獲得し、移住・定住促進、人口減少の抑制を目指す。</p> <p>これまでの地域が一体となった取組により、地域への共感者や移住者も増加してきている。</p> <p>平成 24 年から平成 28 年までの 5 年間で、移住・U ターン者は 20 世帯、37 人になっている。移住された方により、古民家レストランやエステサロンを開設するなどの取組みも始まっている。あば商店の店長も、移住してきた青年が担ってくれている。あばグリーン公社にもこの間 3 人の地域外の人材が新たに加わり、農産加工品の販路拡大やあば交流館・温泉のスタッフとして活躍している。</p> <p>また、高齢化が進んでいた農産物加工グループも、若手のグループが 2 グループ新たに発足し、1 グループはパン屋を開く準備を進めている。</p>
<p><b>⑧課題</b></p>	<p>農林業をとりまく経済環境の厳しさに加えて、少子高齢化の進行は今後も続くものと予測されており、阿波地区を維持していくためには、地域資源を有効活用した地域特性に応じた産業振興を図り、地域で暮らしていける産業基盤や雇用の場を作っていくとともに、生活機能の維持や地域の支えあいの仕組みの再構築が必要となっている。</p>

⑨写真



■ あば商店



■ 農産物加工施設移転予定地 (小学校跡地)



■ あば交流館・あば温泉

出典

- ・あば村運営協議会ホームページ
- ・集落地域における「小さな拠点」形成推進に関する調査（国土交通省）
- ・あば村地域再生計画